

研究課題名	救済化学療法を実施した転移性尿路上皮癌の予後因子に関する研究
研究機関名	東京大学医学部附属病院、武蔵野赤十字病院、多摩総合医療センター、三井記念病院、東京通信病院
研究責任者	所属 泌尿器科 氏名 川合 剛人
研究期間	平成 26 年 8 月 ～ 平成 27 年 7 月
研究の意義・目的	<p>転移性尿路上皮癌の予後は不良であり、cisplatinを主体とする全身救済化学療法が標準治療として行われるが、生存期間中央値は14-15ヵ月程である。予後因子に関する研究はこれまでにいくつかあるものの十分とは言えず、コンセンサスは得られていない。</p> <p>今回の研究では、新たに癌患者の免疫状態を示すとされる「好中球/リンパ球比」を転移性尿路上皮癌患者の予後因子の候補としてその有用性を検証する。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>上記の多施設において、2003年4月から2011年7月までの間にcisplatinを含む全身救済化学療法を実施した、転移性尿路上皮癌の患者に対し、カルテ上の患者生年月日、性別、治療情報、病理学的情報、予後情報、血液検査所見などを検索し、これらの臨床病理学的な因子と生存率の関係を統計学的手法を用いて検討する。</p>
個人情報の取扱い	<p>個人情報、各施設の個人情報に関するガイドラインに従って、厳重に保護され慎重に扱うものとする。本試験の登録患者氏名は外部施設および外部の研究者に知られることはない。患者情報は連結可能匿名化のうえ、登録患者の同定や照会は、登録時に発行される登録番号、患者イニシャル、生年月日、カルテ番号を用いて行われる。匿名化の連結表は、データ本体と分離して、各施設の研究協力者において管理される。データは研究の結果を公表するまでは研究責任者により厳重に保管され、公表後一定期間の後に破棄される。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 泌尿器科 氏名 川合 剛人</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6813 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>